

(4面から続く)

され、15時50分大津波が来襲、大きな被害があったという説明でした。その間、今回の津波では地震発生の都度、津波情報が発表されましたが、ただの10センチメートルか20センチメートルぐらいの津波で、市民は大したことはないと言断され、警報を無視し貴重品などを家に取りに行ったところ、第2波の津波に飲み込まれ大きな被害を出したとの説明でした。第1波の津波の情

報を守った方は着のみ着のままで高台に避難、被害は免れたとの説明でした。今回の東日本大震災の教訓を生かし、本市の防災対策を見直す必要があると思いますが、市長の所見を伺います。

の応札がふえ、3件に1件が同額となり電子のくじ引き判定で落札業者を決めています。落札価格が安ければ税金投入が少なく済みますが、一方落札した業者は赤字覚悟で受注し、下請け等に無理な低賃金で仕事をさせたり、粗悪な材料を使用したり、いい加減な管理で、工事の質低下を引き起こす原因になりますので、入札予定価格や最低制限価格の見直しをして、価格以外の評価項目として地元建設業の

施工能力を生かす総合評価落札方式を導入すべきですが所見を伺います。

はもつと正規職員数が減るので、延長保育などで臨時・非常勤保育士だけの時、大きな災害が発生したら誰が責任をもつて子どもを守るのでしょうか。賃金が安く責任は正規保育士並み、座間市の子どもを育てるといふ大きな役割を果たしているのに、臨時・非常勤でいいのか見解を伺います。

らすのでしようか。今年度保育士の採用計画はあるのか、お聞かせください。

6月定例会の各常任委員会審査した陳情は、次のとおり決まりました。



### 子供の脳脊髄液減少症について正しい理解を

木村 正博 議員《公明党》

っているのか伺います。

脳脊髄液減少症の子供たちの発症例が多数報告されています。この病気は、交通事故やスポーツ外傷など、体への衝撃によって脳脊髄液が漏れ続け、減少することで頭痛や目まい、吐き気などのさまざまな症状に慢性的に苦しめられる病気で、患者の多くは日常生活にも支障を来すほどです。また、この病気は自律神経失調症や心因的なものと誤解されやすく、学校では不登校と判断されがちで、病気に

対する適切なケアがされていないのが現状です。子供の脳脊髄液減少症と不登校の関係についてどのような認識を持

っているのか伺います。

提供しているのか伺います。

高年齢者に就労の場・機会を提供するシルバー人材センターは、小松原一丁目の大和市場にあり交通が不便で、全市の高齢者が利用するには遠すぎて問題があると開設当初から指摘されてきました。

市役所庁舎のレイアウトを考える機会があるならばシルバー人材センターを庁舎に、または庁舎付近に移転させることが優先課題です。

また、学校での教育相談活動の中心を担う教育相談コーディネーターの会議で、脳脊髄液減少症の診療を行っている医療機関のリストや疑義解答資料等を配付するなど学校への理解促進を図っていきたく思っています。



### シルバー人材センターとリサイクルセンターの改善・対策を

中澤 邦雄 議員《日本共産党》

タリを造つたため地盤沈下が進行しています。事務所が狭く休憩場所が不十分なため、回収業者は夏場でも運転席で弁当を食べざるを得ない状態です。さらに、駐車場が少な

いため、日によって2トントラック7台が路上での駐車や回収業者は夏場でも運転席で弁当を食べざるを得ない状態です。さらに、駐車場が少な

災害弱者支援 被災地からの受け入れ指針を！

安海 のぞみ 議員《神奈川ネット》

3月の震災、中でも原発事故は筆舌に尽くしがたい不条理が今もなお拡大しています。今後、福島方面からの避難希望者がふえ、各地での受け入れが必要になると予想されます。本市として、特にハンデ

災害弱者について厚生労働省の避難支援ガイドラインは福祉避難所設置と要援護者名簿の作成をあわせて準備するよう自治体に求めています。



### 公共工事の入札に 工事成績評価の導入を

稲垣 敏治 議員《公明党》

19年から実施され約4年がた

本市の入札制度は、一層の透明性や公平性を確保するため業者を指名せず、参加したい業者が自由に参加できる条件付一般競争入札制度が平成

19年から実施され約4年がた

子どもたちの安全と職員体制との関係は欠くことのできない重要な問題です。この間公立保育園では定年退職をした保育士の補充を臨時保育士

で対応し、その結果、ある園では24人の保育士のうち園長・副園長のほか3人しか正規保育士はいません。育休・産休をとる職員がいればその時期



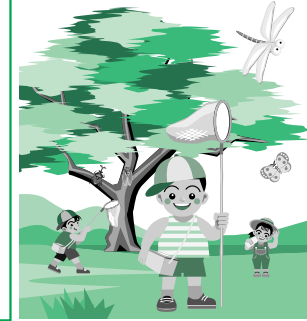
### 正規保育士を採用せよ

柏木 育子 議員《日本共産党》

で対応し、その結果、ある園

子どもたちの安全と職員体制との関係は欠くことのできない重要な問題です。この間公立保育園では定年退職をした保育士の補充を臨時保育士

で対応し、その結果、ある園では24人の保育士のうち園長・副園長のほか3人しか正規保育士はいません。育休・産休をとる職員がいればその時期



## 請願・陳情の提出について

請願・陳情はいつでも受け付けています。3月、6月、9月、12月の年4回開催される定例会において審査されます。なお、定例会ごとの締め切り日については、議会事務局にお問い合わせください。

☎046(2522)8872

## 陳情の結果

6月定例会の各常任委員会審査した陳情は、次のとおり決まりました。

◎ 採 択  
陳情第57号 神奈川県最低賃金改定等についての陳情

◎ 不 採 択  
陳情第54号 地球防衛宣言に関する陳情

陳情第55号 非核三原則の法制化を求める陳情

◎ 継続審査

陳情第20号 座間市議会議場に国旗掲揚を求める陳情

陳情第37号 米飯給食をふやすことを求める陳情

陳情第40号 児童デイサービス施設における看護師設置費用と事業所借り上げ費用の一部補助を求める陳情

陳情第51号 中学校教科書採択についての陳情

陳情第52号 T P P交渉参加反対に関する陳情

陳情第53号 座間市消防団条例における年齢制限についての陳情

陳情第56号 望ましい歴史教科書の採択を求める陳情

陳情第58号 市内の各保育施設、公園などにおける地表、また屋外プールなどの放射線量の測定を座間市に求める陳情